

## なかよしタイム(長時間・預かり保育)運営・連携システムの構築

奈良教育大学附属幼保連携型認定こども園

## 1. 本園のなかよしタイム(長時間・預かり保育)についての概要

本園では、クラス単位で生活・活動する2号認定児の教育標準時間後の保育と預かり保育の時間、及び長期休業中の2号認定児の教育時間を「なかよしタイム」と称し、異年齢児混合の保育を行なっている。異年齢の組み合わせは、子どもの育ちや時期などを考慮し、今年度は、3歳児グループ、4・5歳児グループを基本に生活し、早朝保育(7:30~9:00)とおやつ後の夕方保育(17:00~18:30)は、3・4・5歳児混合で保育を行なっている。そこに、1号児が預かり保育として単発で利用する状況である。

## 1.-① なかよしタイム利用状況

| 学年                  |     | 利用<br>人数 | クラス内<br>人数 |
|---------------------|-----|----------|------------|
| 2歳児                 | 3号児 | 6名       | 6名         |
| 満3歳児                | 1号児 | 1~3名     | 9名         |
| 3歳児<br>15名×2クラス=30名 | 2号児 | 11名      | 11名        |
|                     | 1号児 | 1~3名     | 19名        |
| 4歳児                 | 2号児 | 10名      | 10名        |
|                     | 1号児 | 1~3名     | 18名        |
| 5歳児                 | 2号児 | 12名      | 12名        |
|                     | 1号児 | 1~3名     | 15名        |

4・5歳児：約25名前後(2号児22名 + 1号児数名)

3歳児：約12名前後(2号児11名 + 1号児数名)

3号児2歳児：6名+満3歳児1号児数名 約7名前後

◆3号児以外で定員を41名としている(2号33名・1号児定員枠8名)

現在の利用人数は2号児と1号児合わせて、4・5歳児が25名前後、3歳児が12名前後である。また、3号児は6名であるが、満3歳児1号児の利用があると、7人以上になることもある。

早朝保育及び教育時間後の4・5歳児の保育と夕方保育は、子育て支援室をなかよしタイムの部屋として使用している。3歳児は、教育時間後は午睡もあり、夕方まで3歳児のリズムで過ごすことができるように、3歳児保育室で過ごしている。

## 1.-②なかよしタイムの担当保育者とシフト

早朝保育は、2歳児から5歳児まで10名前後、乳児棟1階の子育て支援室で過ごしている。そこで、2歳児・満3歳児の担任が早朝シフトにも入るように組んでいる。そのほかに副担任、なかよしタイム主任も入る曜日があり、1週間のシフトを組んでいる。

支援児も利用するので、早朝は学生アルバイトにも来てもらっている状況である。教育時間後から夕方18時半までは、以下の6名の非常勤の保育者で保育にあたっている。その他に、なかよしタイム主任が、全体統括とシフト調整、教育時間となかよしタイムの移動の確認、長期休業中の保育、欠勤のカバーなど、必要に応じて随時保育に入っている状況である。また、担任も長期休業中の保育にも入ることもある。進級時、入園時、保育者の欠勤時など随時必要な時に保育にあたるようにしている。



3歳児の保育、4・5歳児の保育は、それぞれ2名の保育者で保育にあたっている。2歳児と満3歳児は、午睡から2歳児保育室で過ごしている。合わせて7名以上利用がある場合は、2歳児担任に加え、非常勤の副担任やなかよしタイムの保育者も入る時もあり、シフトもその都合で変動することもある。

夕方18時以降に2歳児がいる場合は、3歳児以上で過ごすなかよしタイムの部屋に合流している。3歳児や2歳児が合流する際は特に、子どもの学年に合わせ安全に配慮した環境構成（ハサミの使用を調整する、保育者がそばについて一緒にする）や異年齢の中に入る気持ちへ寄り添い、互いの橋渡しをして心地よく過ごせるようにしている。その中で、17時以降保育者は、最終までの保育と3歳児保育室やトイレの清掃、記録を交替して行っている。

### 1. ③ なかよしタイムの生活のおおよその流れ

なかよしタイムの通常保育時と長期休業中の1日の流れは、以下のようである。（令和7年度現在）

| 学期中保育時                  |                                      |             | 長期休業中保育                  |                        |               |                                                |
|-------------------------|--------------------------------------|-------------|--------------------------|------------------------|---------------|------------------------------------------------|
| 7:30                    |                                      |             | 早朝保育(2・3・4・5歳合同)         |                        | [子育て支援室]      |                                                |
|                         | 随時登園                                 |             |                          |                        |               |                                                |
| 8:20                    | ○好きな遊びをする 絵を描く、塗り絵をする、パズルをする、絵本を読むなど |             |                          |                        |               |                                                |
| 8:40                    | 2歳児(3号児)は、保育者と一緒にりす組へ移動              |             |                          |                        |               |                                                |
|                         | 各保育室へ登園                              |             | 8時50分 3歳児 ぶどう組(3歳保育室)へ移動 |                        |               |                                                |
| 13:40<br>13:50<br>14:00 | クラスでの保育・生活                           | おひさまタイムA    | 3歳児[ぶどう組]                |                        | 4・5歳児[子育て支援室] |                                                |
|                         |                                      |             | 9:00                     | 9時登園児登園<br>カバン・タオルかける  | 9:00          | 9時登園児登園<br>カバンを置く                              |
|                         |                                      |             | 9:20                     | 好きな遊びをする               | 9:20          | 好きな遊びをする                                       |
|                         |                                      |             | 9:45                     | 片付け・トイレ<br>水分補給をして     | 9:45          | 片付け・トイレ<br>水分補給をして                             |
|                         |                                      |             | 10:30                    | 運動場か森で好きな遊びをする(夏季是水遊び) |               | 運動場か森で好きな遊びをする(夏季是水遊び)<br>*散歩 10:30～11:30の時もあり |
|                         |                                      |             | 11:30                    | 給食準備 *机出す              | 11:30         | 片付け(着替え)・手洗い・トイレ                               |
|                         |                                      |             | 11:40                    | 給食を食べる                 | 11:35         | 給食準備 *机出す 机を拭く                                 |
|                         |                                      |             | 12:20                    | 食べ終わった子どもから好きな遊びをする    | 11:45         | 給食を食べる                                         |
|                         |                                      |             | 12:50                    | 13時降園の子ども降園準備          | 12:30         | 食べ終わった子どもから好きな遊びをする                            |
|                         |                                      |             | 13:00                    | 13時降園の子ども降園            | 13:00         | 13時降園の子ども降園                                    |
|                         | 3歳児                                  | 4・5歳児       | 午後からは、学期中保育時と同様          |                        |               |                                                |
| 13:45                   | 3歳児午睡準備                              | 好きな遊びをして過ごす |                          |                        |               |                                                |
| 15:10                   | 午睡<br>起床<br>トイレ手洗い                   | トイレ・手洗い     |                          |                        |               |                                                |
| 15:20                   | ・おやつを食べる<br>自分の皿とコップを洗う              |             |                          |                        |               |                                                |
| 15:30                   | 絵本を読んでもらう                            |             |                          |                        |               |                                                |
| 15:40                   | 戸外で遊ぶ<br>保育室へ戻る                      |             |                          |                        |               |                                                |
| 17:00                   | 夕方保育(3・4・5歳合同)                       |             |                          |                        |               |                                                |
|                         | 好きな遊びをする                             |             |                          |                        |               |                                                |
| 18:00                   | 2歳児合流<br>順次降園                        |             |                          |                        |               |                                                |
| 18:30                   |                                      |             |                          |                        |               |                                                |

なかよしタイムもちろん、本園の教育・保育目標のもとに行なっている。子どもたちの生活や学びの連続性を大切に、それらを豊かに育むために私たちに何ができるのかを検討し、昨年度、「なかよしタイム(長時間保

育・預かり保育)の方針」を作成し、なかよしタイムで大切にしたい体験を、子どもたちの具体的な姿から整理した。大きな理念としては、なかよしタイムでは、ゆったりとしたくらしを基礎として、一人ひとりがやりたい活動に取り組み、多様な人とつながることを通して、教育時間での学びとの好循環を目指したいと考えている。

## 2. 令和7(2025)年度の取り組み 連携システムの構築

なかよしタイムでは、様々な保育者が保育を担当していることから、保育者間の連携は重要で、子ども一人一人の情報を密に共有しつつ、日々の振り返りから子どもの姿をみとり、ねらい、環境構成・援助の意図について共通理解のもと、保育にあたれるようにしたいと考えている。

そこで、今年度は、連携システムの構築について整備することにした。

### 2.-① ミーティングの継続 担任やなかよしタイム保育者同士の連携

シフトの時間や曜日で、共有する時間がなかなかもてないため、2023 年9月より、月1～2回(月初または月末に30分)ミーティングを実施。前月の振り返りから子どもの姿をみとり、次月の見通しがもてるようにし、その中で、ねらい、環境構成・援助の意図について共通理解のもと、子ども理解、援助の方向性を共に考え、担任とも連携を取りながら、子どもが教育時間との段差なく安心して過ごせるようにすることを目的とし、保育にあたれるようにと考え行ってきた。また、課題や困ったことなどは、どんなことでも出し合い、改善すべきことは、園全体でも共有し、対応できるようにしたいと考えていた。

しかし、今年度は、定期開催が困難で、継続は難しかった。現在は、なかよしタイム主任が情報を共有できるように個別に時間をとっている。難しさとしては、なかよしタイム主任の業務がいろいろ重なり、その時間の確保が難しい、勤務時間が異なるなかよしタイム保育者が重なる時間の確保と、その時間に保育に入る職員の確保が難しい、などが挙げられる。

#### 〈2025 年度のミーティングの内容〉

| 実施日                                                  | 参加者                                                                                                                                                          | その日の話題                                                                                               | 感じたこと・課題など                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①4月28日<br>13:45～<br>30分                              | なかよしタイム担当保育者(非常勤)4人<br>(3歳児担当2人/4・5歳児担当2人)<br>3歳児担任2人<br>園長・教頭<br>なかよしタイム主任                                                                                  | ・3歳児の新入児の慣らし保育の段階について<br>・「やりたい」の気持ちが出てきている。その子どものやりたいを実現できる 時間の確保、環境構成について                          | *教育時間とのつながり 環境構成 子ども一人一人について、今の時期の子どものとらえ どう援助しようとしているのか<br>など、各担任と定期的に話す機会をもつことの必要性和時間確保の課題、園で子どもの1日の生活をどう考えていくか。             |
| ②5月27日<br>14:00～<br>30分                              | なかよしタイム担当保育者(非常勤)4人<br>(3歳児担当2人/4・5歳児担当2人)<br>3歳児担任2人<br>教頭・なかよしタイム主任<br> | ・4月のミーティングからその後の遊びについて<br>・1号児午睡を渋る子どもの対応(保護者は午睡してほしい)<br>・年中児:思いの行き違いでトラブルみられる<br>・年長児:遊びを見つけれない子ども | *年長児や年中児の話題が出ていたので、ミーティング以外でも、対応や援助などで悩んだときに、常日ごろから、担任とも連携し、話題に出し合え、援助の方向性を共に考える機会をもつことも大事。時間の確保が難しい。                          |
| ③10月28日<br>15:45～<br>時間差で勤務している保育者全員がそろった時間帯に<br>30分 | なかよしタイム担当保育者(非常勤)6人<br>(3歳児担当2人/4・5歳児担当3人/支援児担当1人)となかよしタイム主任<br>          | ・成長を感じるところ<br>・保育でどうしたらいいかと思っていること<br>・引っ越し後の生活について                                                  | *時間帯が異なる全員でそろってミーティングができ、どういう思いで保育に入っているか、困っていることなど共有できたのがよかった。子どもの育ち、成長など良いところを出し合えたのもよかった。ミーティングの内容を担当や他の保育者に共有する方法をどうするかが課題 |

## 2.-② ICT を活用した連携システム(記録方法・共有方法)の構築

### 【記録を紙媒体から ICT 化へ】

今までにも、なかよしタイムの申し送り表で担任からなかよしタイムの保育者に教育時間中の子どものことで伝えたいこと、保護者に伝えてほしいことなどを記入し足り、加えて口頭で伝えたりしていた。また、なかよしタイムであった主にけがやトラブル、忘れ物などのことも申し送り表に記録し、担任が翌朝確認するなどを行ってきた。また、教育時間との好循環を生み出す、子どもの姿、育ち、ねらいの共有に向けて、なかよしタイムの時間での子どもの興味関心や友達とのつながり、楽しんでいることなどを担任と共有するため、日々の子どもの姿や様子を紙媒体に記録し、なかよしタイムの記録として日々つづっていった。

以上のように、普段の申し送りや連絡事項は、申し送り表に担任が記入もしくは口頭で伝えたり、日々の記録を記入したりしていたが、細かいニュアンスが伝わりにくいことや具体的な姿や環境構成など分かりにくいこともあった。限られた勤務時間の中で、保育をしながら、記録時間を確保することも難しかった。また、保育記録を毎日担任が見ることがルーティーン化されないなど課題があった。そこで、今年度は、ICT を活用し、日々の記録の共有を図ることにした。

今年度は、個別の配慮が必要な園児がなかよしタイムを利用することもできた。支援や配慮の必要な子どもの保育は、保育時間が長時間になると更に難しさが出てくる。担任と連携し、支援の方向性を共有していく必要がある。そこで、様子の共有についても考えた。

これまでは、担任がなかよしタイムの保育中に関わること、通常の保育では見えない子どもの姿が見られることもあったり、個別にゆったりと関わったりすることで、次の日につなげていくこともできる。また、担任が行う支援の方法をなかよしタイム保育者も受け継ぎ、支援していく手立てにつなげていくこともできた。

また、今年度は、担任からその子どもの特性や好きな遊び、今大事にしていること、支援の手立てなどを、担任からなかよしタイム保育者 1 人に伝える時間を取ることにした。話を聞いた保育者が核となり、他の子どもとの橋渡しをしたり、好きな遊びに没頭できるようにしたりした。

その他に、支援児のサポートで、教育時間となかよしタイムで担当保育者が変わるため、ICT を活用して、子どもの記録を残し、情報が共有できるようにした。

### 【ICT を活用した連携方法の構築】

連携に関する課題から、園全体で情報を共有する方法、教育時間との好循環につながる記録方法に視点をあて、ICT を活用し、園で運用している登降園・園務支援システムの「保育ドキュメンテーション」のツールを活用した記録方法や連携の方法についてできる機能を考え、探ることにした。(図1)

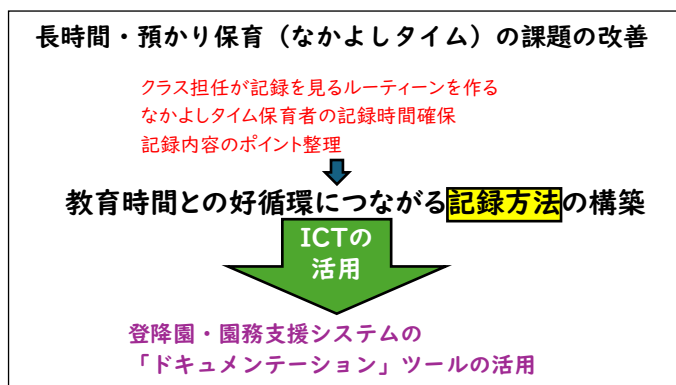


図1 連携課題から ICT を活用へ

そして、活用できる機能で、入力の仕方を整理し、記録の仕方についてマニュアル(図2)を作成した。なかよしタイム担当保育者にマニュアルを見てもらい、タブレットで毎日入力することにした。記録内容は、その日楽しんでいたこと、環境で出したもの、その日にみんなで読んだ絵本など iPad で写真に撮り、それを記録に入れ、子どもの姿や様子を記録するとした。また、必要な申し送りについても入力することにした。

なかよしタイム担当保育者が、勤務時間内の後半 20 分程度で、その日の写真と子どもの興味・関心や遊びの様子や申し送り事項などを入力し記録。担任が翌朝確認できるシステムとした。入力に慣れてくると、なかよしタイムの保育者が、勤務時間内の後半 20 分程度で、保育者同士かわり合い、記録できるようになってきた。運用していくうちに、1日20件しか入らない、字数が200字以内しか入らないなど機能の限界もわかってきて、その範囲でできる遊びの様子や申し送り事項などを記録している。

その「保育ドキュメンテーション」機能で記録したことが、「個人台帳」の「個人の活動記録」というページに反映される。その機能は、子どもたちの日々を追いやすい。個人の記録として残っていくことができる。(図3)

そのようなことが分かってきて、さらに支援児の記録についてもこの方法で残すことにした。支援児をサポートする担当保育者が、教育時間となかよしタイムで変わるので、このツールで、互いに支援したときの様子を残していき、共有できるようにし、こちらもクラス担任が確認し、その後の支援の手立てを一緒に考えていくようにしている。



図2 なかよしタイム記録 入力方マニュアル



図3 「保育ドキュメンテーション」機能で個人名にチェックをいれておくで「個人台帳」に反映される

## 【ICTを活用した「なかよしタイム」の記録から教育時間の保育へ】

次に、この記録方法を活用して、どのようなやり取りで、連携していけるかということを探っていった。2学期の後半からなかよしタイムの記録を、ICTを活用して残していくことや、それを見ることのルーティーンはできてきたが、記録内容について担任とのやり取りまで進んでいなかった。そこで、3学期から、「記録を見た担任からのフィードバックを書いてみる」、「なかよしタイムの記録者を明記し、担任が声をかけやすくし、遊びや子どもの姿について共有できるようにする」ということを決め、続けていくことにした。

### 〈事例Ⅰ：3歳児 遊びの環境〉

#### （事例Ⅰ：遊びの環境）



#### 今日の気づき・振り返り ④ 次の日に担任よりコメント

写真があるので、誰がその遊びをしているのかとても分かりやすいです。また、教育時間の環境構成を考える際にもとても参考になります。鉄棒に板を掛けるの、今度してみようと思います。  
3歳児いちご組担任〇〇

#### 教育時間中での活動



○その後、いもほり・運動会などがありいろいろな遊びがあったが、運動会後の遊び（11/11）板を鉄棒にかけて遊ぶ遊びが始まった。  
○元の園舎に引越し後も、自分たちで板を組み合わせて遊ぶ姿が見られた（12/11）。

**\*環境だけでなく、子どもの育ちをどう見とり、共有していくことが大事ではないか**

事例Ⅰは、ICTの活用でやり始めた一番はじめのやり取りで、遊びの環境のつながりの事例である。

担任が、なかよしタイムの記録を見て、次への環境構成の参考にしようと考えていくことをコメントしている。写真があることで、誰が誰とどう遊んでいるかなど担任とは伝えやすくなったと感じている。子どもの興味・関心、やりたいことをとらえ、環境構成も子どもたちが組み合わせて使えるようにと考え、子どものやりたいことやこの遊びを意識していたことで、教育時間でも11月や12月の子どもたちのやりたい遊びに発展していった。

この事例からは、子どもたちのやりたいことを環境構成でどうつなげていくかということに視点をもつことができた。なかよしタイムと教育時間との好循環を考えていく際には、環境のことだけでなく、この記録から子どもの育ちをどう見とるのか、ねらいは何かなども共有できることも大事になってくるので、そのようなやり取りが、今後重要になってくると考えている。そういったことから、なかよしタイムの保育者も教育時間の記録やドキュメンテーションを閲覧することで、教育時間中の様子も把握でき、担任と共に子どもの育ちを捉えることもできるようになるので、そういったやり取りも目指していきたい。

〈事例2:4歳児 なかよしタイムでやったことがきっかけで、次の日にも「やりたい」につながる〉

## (事例2: 次の日も「やりたい」に )

なかよしタイム記録 2026年01月15日 (木)

4歳 大縄



Y児が大縄を始めるとK児が興味を持って自分もやってみようとする。Y児は、トータル200回跳べて喜んでいた。Y児をみてコツを少し掴んだようでK児は5回連続跳びができてトータル13回跳べた。W児は、一度も跳ばず中抜けを何回も楽しむ。 保育者T

**\*なぜ担任はこれにコメントしようと思ったのか？**

この日、K児が教育時間で長縄に入ってきたのが初めてだった。なかよしタイムの記録を見ると、なかよしタイムでやったことがつながったと思ったのでコメントした。

新たな遊びをなかよしタイムで経験したから、またやりたくって次の日も大縄に参加したのだと思った。いる人数や友達も違うなかよしタイムの時間だからこそ、目に入りやすくやってみようと思いが向いたのではないだろうか。

今ちょうど、4歳児で経験できたらいいなと思っていたので、K児にとっていいきっかけだと思った。

次の日に担任よりコメント

4歳児縄跳びの写真について：翌日、長縄をしているK児が「Kちゃん跳べたよ！」と嬉しそうに言いながら、列に並んで、跳んだ。そら組になっては初めてかも（3歳児ぶどう組には経験があります）4歳児担任〇〇

事例2は、なかよしタイムでやった遊びが次の日にもやりたいことにつながった事例である。

担任は、教育時間中、4歳になってから大縄に初めて入ってきたK児の姿を捉えた。なかよしタイムの前日の記録を見て、K児が周りの友達をみて、大縄に挑戦し、跳べた喜びあったことを知り、だからK児が次の日にもやりたいことにつながったのだと気づいた。そういう思いから、コメントをしている。

担任は、ちょうどいい友達の人数、距離感、遊びの見えやすさなど、なかよしタイムならではの空間や距離感がK児にとっては良かったのではないかと推察している。

今後コメントをする際に、コメントしようと思った担任の意図やなかよしタイムならではの視点で気づいたことも共有できることも重要だと考える。

〈事例3:申し送り〉

(※NT=なかよしタイムの略字)

## (事例3: 3歳児1号児 午睡をしない移行にむけての申し送り)

保育ドキュメンテーション

2026年1月度 第5週

なかよしタイム記録

今日のねらい

今日のねらいが未設定です

1/26(月) 1/27(火) 1/28(水) 1/29(木) 1/30(金) 1/31(土)

日々の記録

基本情報

| 在籍 | 出席 | 欠席 | 感染症・症状                                     | 天候 | 気温 | 湿度 |
|----|----|----|--------------------------------------------|----|----|----|
| 7人 | 6人 | 4人 | 風邪・発熱(1人) けい・のどの痛み(2人) 発熱(1人) けい・のどの痛み(1人) | -  | -  | -  |

今日の計画

| 予定 | 予定される子どもの姿・活動・ねらい       | 場面・配慮事項 |
|----|-------------------------|---------|
|    | 午後の活動(13:45~15:00) 自由遊び | 観察      |
|    | おやつ                     | 配慮事項    |

活動の記録

NT申し送り: 3歳1号児の午睡について

1号児のM児とT児は、利用日に午睡をしないことが続いているので、保護者にもお伝えし、午睡をしないことになりました。13:45に、4・5歳児の部屋にT先生が連れて保育に入ってください。M児母より、夕方の様子を見て、また午睡を復活するかは要相談となっています。NT主任

**\*担任だけでなく、ほかの保育者、なかよしタイムの保育者同士も申し送りを見ているので、シフトに変更があったとしても、対応できるようにしている。**

事例 3 は、3 学期に入り、3 歳児 1 号児がなかよしタイムの利用時に、午睡をしない方向で進める申し送りの事例である。午睡をしない 1 号児は、4・5 歳児の保育室に入り一緒に過ごすため、子どもと一緒に部屋を移動する保育者は誰か、3 歳児が 4・5 歳児の部屋で遊ぶことなどを保育者で共有しておく必要がある。

このように、日々の申し送りも、保育者同士で共有できるので、シフトに変更があったとしても、対応できるようにしている。

字数に制限があるため、フィードバックへの返信やだれが見た、チェックしたというところまでできていないのは、機能の課題としては残るが、今のところ、なかよしタイム主任が連携をつなぐハブの役割も担っているため、保育者に共有できているか確認を取りながら、進めている状況である。

### 3. 今年度の成果と課題

#### 〈成果〉

- ・ICT を活用し記録することで、慣れてくると記録時間も短縮されてきた。  
子どもの姿や情報の共有ができ、連携システムの運用が軌道に乗り始めている。
- ・園全体の職員で、記録を共有できるよさがある。
- ・早朝担当保育者や毎日勤務でない保育者が、申し送りやなかよしタイムの時間の写真と記録で子どもの様子を把握しやすくなった。
- ・担任が、朝の欠席確認の時に一緒になかよしタイムの様子を確認でき、日々のルーティーン化につながっている。
- ・教育時間だけ、担任だけの視点ではない、いろんな人の視点で子どもを見ていくことや、1 日を通しての子どもを互いに分かることにつながっているのではないかな。

#### 〈課題と今後の展望〉

- ・なかよしタイムの姿と教育時間がつながる点をフィードバックするやり取りの中で、子どもの育ちやねらいの共有などまでには至っておらず、そのルーティーン化が必要ではないかな。
- ・記録は、視点を絞ってとることで、日々の振り返りが共通の視点をもって行えるのではないだろうか。教育・保育目標やなかよしタイムの方針の中のキーワード、「くらし」「遊びを広げる・深める」「多様な人とつながる」に視点におき、今後、記録を残していく視点を定めていくことで、カリキュラムマネジメントにもつながっていくことにつながるようにしたい。
- ・日々の記録で様子は分かるが、なぜそれをしたか、今の子どもの育ちはどうかなど、1 分でも話す時間を担任が意識して取ろうとすることも重要になってくるのではないかな。なかなかミーティングの時間は取りにくいから、なかよしタイムでは、様々な保育者が保育を担当していることから、話すことも重要であるので、先ほどの記録と同様に話すテーマも視点を定めて、たとえ、学期に 1 回でもミーティングの時間を取れるよう計画しておく。そういった積み重ねが、教育時間となかよしタイムでの経験が往還し、好循環を生み出す教職員の連携につながっていきたい。そして、教職員間で、子ども一人一人の情報を密に共有しつつ、日々の振り返りから子どもの姿をみとり、ねらい、環境構成・援助の意図について共通理解のもと、保育にあたれるようにしたい。
- ・現在、保護者への発信は、長期休業中の様子・異年齢のかかわり、なかよしタイムの時間にあったイベントなど、なかよしタイムならではの様子を定期的ではないが、ドキュメンテーションを作成し、行っている。今後、保護者にも、教育時間との好循環につながる、園での 1 日を通じての様子を伝え、子どもの姿や育ちを共有していくことも重要になってくる。今後、日々の記録から日常的になかよしタイムの様子を発信していくサイクルにつなげていくことで、なかよしタイムを利用しない子どもたちと遊びやくらしを共有していく方向も考えていくことができるのではないだろうか。